

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 SANKYO

上場取引所 東

コード番号 6417

URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 石原 明彦

TEL 03-5778-7777(代)

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	133,575	97.8	28,466	821.1	29,883	596.6	22,929	—
25年3月期第3四半期	67,525	△33.9	3,090	△82.1	4,290	△78.7	1,922	△81.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 24,598百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 1,790百万円 (△82.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	245.31	—
25年3月期第3四半期	20.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	465,858	413,469	88.7
25年3月期	464,259	402,918	86.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 413,399百万円 25年3月期 402,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
26年3月期	—	75.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	53.6	28,000	298.7	30,000	216.2	23,000	292.9	246.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	97,597,500 株	25年3月期	97,597,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	4,125,196 株	25年3月期	4,124,256 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	93,472,955 株	25年3月期3Q	93,473,620 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）におけるわが国経済は、政府による経済・金融緩和政策などの効果が現れる中、企業収益の改善や株価の上昇などが見られ緩やかな回復基調にあります。先行きにつきましても、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクや本年4月に実施される消費税増税の影響による不透明さは残るものの、雇用情勢や所得環境、消費マインドなどの本格的な改善が期待されています。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、依然としてファンのプレイ費用抑制傾向が続く中、参加人口に回復の兆しが見えず厳しい状況が続いております。これを受け、パーラー経営においても収益確保のための経費節約志向が強まっており、主要な集客手段である新台購入に対しても慎重な姿勢が見られ、パチンコにおいては市場全体の出荷台数が低調に推移しております。

このような厳しい環境の中、当社グループでは当第3四半期連結会計期間において、新規コンテンツの採用とともに斬新なゲーム性を搭載した商品を中心に投入いたしました。しかしながら、パーラーの保守的な商品選別傾向の高まりから、実績のあるヒットシリーズの続編など競合他社の定番商品に需要が集中したため、当社グループの販売は当初計画に達しませんでした。

この結果、売上高1,335億円（前年同四半期比97.8%増）、営業利益284億円（同821.1%増）、経常利益298億円（同596.6%増）、四半期純利益229億円（前年同四半期は19億円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドでは「フィーバー機動戦士ガンダム」（平成25年4月）、「フィーバースレイヤーズREVOLUTION」（平成25年10月）などを販売いたしました。Bistyブランドでは「蒼天航路」（平成25年5月）、「エヴァンゲリオン8」（平成25年7月）、「鉄拳」（平成25年11月）を販売いたしました。JBブランドでは「マジカペ」（平成25年5月）、「ゴーストNEO」（平成25年6月）、「すろんこFLOWER」（平成25年8月）などを販売いたしました。

この結果、売上高912億円（前年同四半期比146.1%増）、営業利益238億円（同446.4%増）、販売台数265千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドでは「パチスロ 創聖のアクエリオンII」（平成25年5月）、「パチスロ ボンバーパワフルII」（平成25年9月）、「パチスロ タイガーマスク」（平成25年11月）を販売いたしました。Bistyブランドでは「パチスロ ウルトラマンウォーズ」（平成25年10月）などを販売いたしました。

この結果、売上高267億円（前年同四半期比116.4%増）、営業利益82億円（同358.9%増）、販売台数80千台となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高147億円（前年同四半期比12.4%減）、営業利益4億円（同36.7%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高8億円（前年同四半期比30.7%減）、営業損失5億円（前年同四半期は2億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,658億円であり、前連結会計年度末と比べ15億円増加しました。これは主に有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が72億円、受取手形及び売掛金が33億円、商品及び製品が31億円それぞれ減少となりましたが、有価証券が150億円増加したことによるものであります。

負債は523億円であり、前連結会計年度末と比べ89億円減少しております。これは主に未払法人税等が58億円増加となりましたが、支払手形及び買掛金が138億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ105億円増加しました。これは主に配当金の支払い140億円により減少した一方、四半期純利益を229億円計上したことによるものであります。この結果、純資産は4,134億円となり、自己資本比率は1.9ポイント増加し、88.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の動向等を踏まえ、平成25年5月9日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。パチンコ機の予想販売台数は373千台から311千台、パチスロ機の予想販売台数は180千台から116千台に見直しております。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、期末配当につきましては当初予想の1株当たり75円（年間配当150円）を変更する予定はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、下記のとおり連結の範囲の変更はありましたが、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

（連結の範囲の変更）

前連結会計年度において連結子会社であった㈱吉井カントリークラブは、平成25年4月1日付で連結子会社である㈱三共クリエイトを存続会社とした吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,359	118,618
受取手形及び売掛金	44,401	41,055
有価証券	136,993	151,994
商品及び製品	9,039	5,850
仕掛品	300	54
原材料及び貯蔵品	1,338	594
その他	27,113	20,377
貸倒引当金	△40	△15
流動資産合計	339,504	338,529
固定資産		
有形固定資産	47,506	47,261
無形固定資産		
のれん	3,215	2,662
その他	351	424
無形固定資産合計	3,567	3,087
投資その他の資産		
投資有価証券	68,344	71,091
その他	5,720	6,298
貸倒引当金	△4	△29
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	73,681	76,981
固定資産合計	124,755	127,329
資産合計	464,259	465,858
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,327	27,518
1年内返済予定の長期借入金	506	—
未払法人税等	1,677	7,536
賞与引当金	821	418
その他	8,858	11,224
流動負債合計	53,191	46,698
固定負債		
長期借入金	2,658	—
役員退職慰労引当金	695	743
退職給付引当金	3,641	3,805
資産除去債務	58	58
その他	1,095	1,084
固定負債合計	8,149	5,691
負債合計	61,340	52,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	382,726	391,611
自己株式	△20,932	△20,936
株主資本合計	400,513	409,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,405	4,004
その他の包括利益累計額合計	2,405	4,004
少数株主持分	—	69
純資産合計	402,918	413,469
負債純資産合計	464,259	465,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	67,525	133,575
売上原価	35,056	68,599
売上総利益	32,468	64,975
販売費及び一般管理費	29,378	36,509
営業利益	3,090	28,466
営業外収益		
受取利息	814	778
受取配当金	295	388
持分法による投資利益	—	111
その他	197	151
営業外収益合計	1,308	1,430
営業外費用		
支払利息	4	2
持分法による投資損失	91	—
為替差損	—	6
その他	13	4
営業外費用合計	108	13
経常利益	4,290	29,883
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産廃棄損	110	175
特別損失合計	110	175
税金等調整前四半期純利益	4,179	29,711
法人税、住民税及び事業税	1,938	9,071
法人税等調整額	318	△2,358
法人税等合計	2,256	6,712
少数株主損益調整前四半期純利益	1,922	22,999
少数株主利益	—	69
四半期純利益	1,922	22,929

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,922	22,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	1,521
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	77
その他の包括利益合計	△132	1,599
四半期包括利益	1,790	24,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,790	24,528
少数株主に係る四半期包括利益	—	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,061	12,349	16,888	66,299	1,225	67,525	—	67,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	37,061	12,349	16,888	66,299	1,225	67,525	—	67,525
セグメント利益 又は損失(△)	4,368	1,793	727	6,889	△240	6,648	△3,558	3,090

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,202	26,728	14,795	132,726	848	133,575	—	133,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	91,202	26,728	14,795	132,726	848	133,575	—	133,575
セグメント利益 又は損失(△)	23,870	8,230	460	32,560	△531	32,028	△3,562	28,466

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。